

3 師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙



令和4年2月
NO. 151

令和3年度第2回師団統裁バトラ戦闘訓練

～協同部隊に支援された普通科中隊が勝利を追求し激突～



各種行事・訓練

令和3年度第2回師団統裁バトラ戦闘訓練
師団長初度視察
令和3年度幹部候補生隊付教育
師団スキー集合訓練
師団格闘集合訓練
方面隊集合教育「狙撃」

第3師団隊員紹介コーナー

3Dレディー
ただ今奮闘中
一隅を照らす
趣味あり☑

みんなの架け橋

自衛隊和歌山地方協力本部

職場の豆知識

数字のマジック

表紙写真：第2回師団統裁バトラ戦闘訓練（第37普通科連隊）



協同部隊に支援された普通科中隊が勝利を追求し激突

師団（師団長 荒井陸将）は、令和4年2月10日（木）から青野ヶ原演習場（兵庫県）において、令和3年度第2回師団統裁バトラ戦闘訓練を実施した。

本訓練は「バトラ（交戦訓練装置・Battle Training Apparatusの略称で、レーザー光線等により実弾を使用することなく実際の交戦訓練ができる機材）」を活用し、実戦に近い環境下において、中隊対抗方式で行った。

訓練開始式において師団長は、訓練部隊に対して「状況の変化に適合しつつ戦え、一生き残り任務の完遂に努めよ」と及び「安全の確保」の3点を要望した。

戦車、野戦特科、施設科部隊の配属を受けた増強普通科中隊は、実戦的能力及び諸職種協同の練度向上を図ることを目的に、攻撃部隊と防御部隊それぞれが「我の健在」及び「敵の減殺」を追求して戦闘を開始した。

本訓練に防御部隊の中隊長として参加した第7普通科連隊第5中隊長の菊地1尉は、「姿を現さない敵に対し必死に耐える戦闘であり長く厳しい任務だった。特に、敵の攻撃開始以降、戦闘が生起する場面ごとに勝負の分かれ道があり、その結果によって中隊の戦況が大きく変化するということを実感できる戦闘であった。また、協同部隊も含め各隊員が積み上げてきた練度は信頼に値するものであり、成長した姿を確認できる戦闘となった」と所見を述べた。



師団長に対する課題報告（第36普通科連隊）



バトラの視準校正
（第7普通科連隊）



統裁官訓示を受ける隊員
（第37普通科連隊）



軽装甲機動車による警戒
（第7普通科連隊）



障害を構成する隊員
（第37普通科連隊）



敵を待ち受ける74式戦車
（第3戦車大隊）



射撃準備中の81mm迫撃砲
（第36普通科連隊）



障害を構成する隊員
（第3施設大隊）



射撃諸元を算定する射撃指揮班
（第3特科隊）



参加者の胃袋を支えた管理支援隊
（第3師団司令部付隊）



師団 団 長 初 度 視 察

全部隊の状況を確認

師団（師団長 荒井陸将）は、令和4年1月20日から2月28日にかけて、師団隷下全14コ部隊の初度視察を行い、全部隊の状況を確認した。

訓示においては、部隊・職種の特性に応ずる期待及び隊員一人一人の心身の健康維持と部隊の隊員同志の信頼の育成を要望した。



中隊長との懇談
(第37普通科連隊)



状況報告
(第36普通科連隊)



儀じょう
(第3特科隊)



駐車場地域視察
(第3飛行隊)



師団長訓示
(第7普通科連隊)



師団長旗手下番
(第3特殊武器防護隊)



歓迎演奏
(第3音楽隊)



顕彰碑への献花



師団最先任上級曹長との懇談



司令部研修 (総務課広報班)



師団長訓話を聴く候補生

師団は、令和4年1月27日（日）、令和3年度幹部候補生隊付教育を開始した。幹部候補生学校を卒業し、師団隷下9個部隊に配属された候補生達は、職種部隊での教育に先立ち、師団司令部での教育を受講した。

師団は、2月3日（木）、師団司令部での師団統制教育において、幹部自衛官として必要な使命感及び責任感を涵養させることを目的に、顕彰碑献花、師団長による訓話、師団司令部研修等を実施した。

訓話において師団長は、「第3師団に配属されたことを心より歓迎する。師団所属幹部として各職種部隊のリーダーになるよう実力を磨け」と激励した。

教育に参加した第3高射特科大隊所属の白井幹部候補生は、「本教育を通じて、将来幹部自衛官として勤務する責任を改めて自覚し、責任を遂行する決意を新たにすることができた。これから第3師団の一員として『部隊』と『土地』を愛し、多くのことを学んでいきたい」と語った。



明朗澆刺な幹部候補生が着隊



積雪寒冷地で行動するスペシャリストを育成



アキオ曳行による重量物運搬 (アキオ:フィンランド語で「そり」の意味)

師団は、第7普通科連隊(連隊長 小野田1佐)を訓練担任部隊として、令和4年1月17日(月)から約1か月にわたり、主に奥神鍋スキー場(兵庫県豊岡市)において、令和3年度師団スキー集合訓練を実施した。

参加した隊員は、滑降・回転技術、滑走技術、積雪寒冷地における遭難者救助訓練等、部隊スキー指導官として必要な知識・技能を修得した。



重量物を担いでの滑降回転技術訓練



フル装備でのスキー機動訓練

認定試験においてスキー技術種目、指導法及び学科試験をクリアした隊員が、部隊スキー指導官に認定された。

本集合訓練に参加した第7普通科連隊所属の明渡(あけど)3曹は、「更なる冬季戦術能力向上に努めるとともに、本訓練で学んだことを師団の隊員に普及して寒冷地における部隊の練度向上に寄与したい」と述べた。



切磋琢磨し、技能を向上



格闘指導官認定試験(技術運用)

師団は、第37普通科連隊(連隊長 東1佐)を訓練担任部隊として、令和4年1月11日(火)から、信太山駐屯地(大阪府和泉市)及びあいば野演習場(滋賀県)において令和3年度師団格闘集合訓練を実施中である。

参加した隊員は、格闘技術のみならず安全管理も含め、部隊格闘指導官として必要な知識、技術の修得に励み、所要の認定試験(技術運用、指導法等)を次々とクリアした。



格闘指導官認定試験

試験課目の一つである技術運用(敵からの不意急襲的な攻撃への対処を検する試験)では、小銃・銃剣・徒手(素手)による多くの試技を用いた対処について確認した。

本集合訓練に参加中の第36普通科連隊所属の平郡(へぐり)3曹は、「魂のこもった格闘指導官になれるように、仲間と切磋琢磨し、全力で頑張りたい」と述べた。



不意急襲的に出現する敵への対処訓練



観測手と連携、命中率を向上



対人狙撃銃による基本射撃

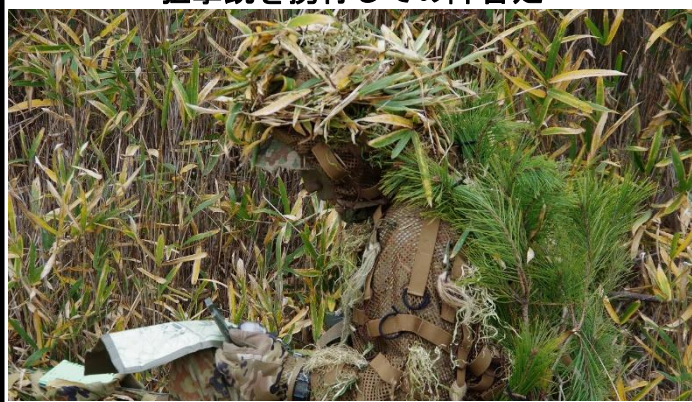
師団は、第36普通科連隊(連隊長 三島1佐)を訓練担任部隊として、令和4年1月11日(火)から伊丹駐屯地(兵庫県伊丹市)、青野ヶ原演習場(兵庫県)等において、令和3年度方面隊集合教育「狙撃」を実施中である。

参加隊員は、昨年12月の資格検査(射撃・体力)を経て選考された隊員であり、本教育において、基本射撃、応用射撃、各種潜入訓練等、狙撃手として必要な知識・技能の修得に邁進中である。



狙撃銃を携行しての障害走

本集合訓練に参加中の第36普通科連隊所属の河原3曹は、「狙撃手としての行動や基本的事項を学び、射撃訓練では、バディである観測手と連携する大切さを学びました。教育終了後は、後輩狙撃手の育成に尽力し中隊に貢献していきたい」と述べた。



潜入訓練(自己位置の確認)

3DL ティー

「強くて優しい女性に」



第36普通科連隊本部管理中隊
1等陸士 藤澤 彩香

第36普通科連隊本部管理中隊に所属する藤澤 彩香（ふじさわ あやか）1士へのインタビューです。藤澤1士は、夏の暑さで有名な岐阜県多治見市出身、やる気満々の熱い女性隊員です。

Q 入隊の動機は。

A 人のために働く仕事がしたいと思いついて入隊しました。

Q 部隊の魅力・やりがいは。

A いい人ばかりで、楽しく仕事ができるところが魅力です。

Q 心に残る経験は。

A 日米共同訓練（YS・山桜）支援において米軍との交流会に参加したことです。

Q 尊敬する人は。

A 母です。母のように強くて優しい女性になりたいです。

Q 趣味は。

A 旅行に行くことや美味しい物を探して食べ歩きをすることです。

Q 今後の目標は。

A 何事にも全力で取り組み、衛生科隊員として、立派な自衛官になることです。

Q 最後に一言

A 人生を楽しむ！

ただ今奮闘中

「日々精進」



第3後方支援連隊輸送隊第1輸送小隊に
所属する櫻井 友梨（さくらい ゆり）3尉へのインタビューです。

第3後方支援連隊輸送隊第1輸送小隊に所属する櫻井 友梨（さくらい ゆり）3尉へのインタビューです。

Q 第何期で入隊しましたか。

A 平成31年3月に一般幹部候補生として入隊しました。期別は19Uです。

Q 幹部になったきっかけ（動機）は。

A 東日本大震災にて活動されていた自衛官の姿に感銘を受け、私も誰かの助けになりたいと思志望しました。

Q 幹部候補生学校での思い出は。

A 総合訓練が1番の思い出です。訓練の最終場面に於いて他区隊と協力して敵陣地を攻撃奪取し、陣地に旗を立てた時はとても嬉しかったです。

Q どのような業務をしていますか。

A 第1輸送小隊長として、各種輸送支援及び調整をしています。

Q 幹部としてやりがいを感じる時は。

A 輸送支援において各部隊、地方協力本部等と調整し、支援が無事遂行された時です。

Q 幹部任官後、最も苦勞したことは。

A 自衛官候補生の新隊員教育にて区隊長を務めたことです。どう教育をするべきか試行錯誤しながら教育したことです。

Q 部隊等の隊員に一言

A まだまだ発展途上のところではありますが、日々邁進していきたいと思っておりますのでよろしくお祈りします。

一隅を照らす

「偵察隊の鑑」



第3偵察隊本部付隊
3等陸曹 吉次 友貴

第3偵察隊に所属する吉次 友貴（よしつぐ ゆうき）3曹を紹介します。

吉次3曹は、平成25年10月に偵察隊に配属され、平成30年1月、3等陸曹へ昇任。現在は本部付隊で隊長ドライバー兼文書陸曹として勤務しています。吉次3曹は、隊長ドライバーとして安全運転に心がけ、隊長を目的地まで安全・確実に送り届けることを最優先として職務に励んでおります。

また、文書陸曹としても、行政文書管理の識能向上に努めており、行政文書の電子的管理が進む中、偵察隊の各係や隊員に対して文書作成及び管理に関するアドバイスを行い、適切な文書管理業務を実施しています。

休日においては、最近始めたゴルフに夢中になっており、上司、後輩と共に練習に勤しむとともに、ゴルフを通じて職場の仲間と親睦を深めています。

吉次3曹の常に向上心をもって勤務する姿は偵察隊若手隊員の鑑です。今後、更なる活躍を期待しています。



第3偵察隊の仲間たちと

趣味あい

「趣味が繋ぐ絆」



第3施設大隊第3中隊
3等陸曹 藤本 将人

私は、第3施設大隊第3中隊の藤本 将人（ふじもと まさと）3曹です。私の趣味「スノーボード」について紹介します。スノーボードを始めたのは、入隊して初めての年末年始休暇の時に、先輩に誘われて同期とともに行ったことがきっかけであり、今となっては、趣味として毎年のように行くようになりました。当時は先輩とあまり話す機会がない私でしたが、共通の趣味を通じてよくコミュニケーションがとれるようになり、仕事もプライベートも楽しく過ごすことができるようになりました。

スノーボードの魅力は、家にこもりがちで寒い冬にも外に出てアクティブに活動できることです。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により楽しむことはできませんが、終息を機にみなさんも、周りの人たちを誘って、スノーボードに行ってみてはいかがでしょうか？



第3施設大隊の仲間たちと



自衛隊和歌山地方協力本部 2府4県

JAPAN SELF DEFFENCE FORCE WAKAYAMA Provincial Cooperation Office

みんなの架け橋

このコーナーでは、自衛隊地方協力本部からの情報を発信します。

★★★★★広報官の紹介★★★★★

橋本地域事務所
森下 進一陸曹長
職種：衛生科
趣味：家庭菜園、ガラクタ集め

平成31年3月から第37普通科連隊から橋本地域事務所での勤務になり日々募集の最前線を体感しています。
地元での勤務なので、地域の集会には積極的に参加し、いつも笑顔で自衛隊の魅力をPRしています。時には努力が成果につながらない等、厳しいこともあります。部隊で鍛えられた忍耐力で乗り越え頑張っています。いつ部隊復帰しても即戦力になれるよう体力練成にも励んでいますのでその際はよろしくお願ひします。

御坊地域事務所
田中 基裕 1等陸曹
職種：施設科 趣味：釣り

平成28年8月に広報官として赴任し6年目に入りました。出身が大阪府で縁も所縁もない土地での業務に、当初は戸惑いもありましたが、色々な方々の支えもあり、今では「地元民」と言えるまでに地域に馴染むことができました。広報官勤務で得たことは、人と人との縁が自衛隊と地域を繋いでいると強く実感したことです。縁あって今年も、この御坊地域事務所から入隊する若者がいます。近い将来、部隊へお世話になると思っていますのでどうぞよろしくお願ひ致します。



みかんの助★うめの助★かきの助より和歌山地本では、新型コロナウイルス感染防止対策に注意しながら日々募集活動実施中です。募集の第一線で任務遂行する第3師団出身の広報官2人を紹介します。
また、お近くに自衛隊に興味ある方、進路に迷ってる方等いらっしゃいましたら、ご連絡下さい。ユ-モア溢れる広報官たちが親身になり相談に乗ります！宜しくお願ひします。

毎日SNS通して情報を更新してます。フォロー&いいね待ってます。

@Wakayama_Pco @wakayamapco @wakayamaPCO

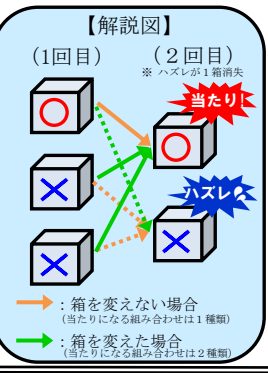
和歌山地方協力本部募集課
☎073-422-5116 (内線:8-727-3511)

このように直感や的外れな計算を根拠にすると、チャンス逃すこともありそうです。数字に出会ったときは、真剣に向き合うことが大切です。

先日、降水確率が20%ということ、まあ大丈夫だろうと雨具を携行せずに外出したのですが、急な雨にノーガードで打たれて散々な目に遭いました。降水確率とは、その地域で1mm以上の降水がある確率のことだそうです。確率ですので、当然今回のように少し残念なことも十分起こり得ますが、皆さんも判断材料の1つとして、普段から生活で役立てているのではないのでしょうか。

さて、この「確率」ですが、前述のような単純なものもあれば、実は複雑で、直感と理論値に大きな開きがあるものもあります。

例えば、3つの箱の中に1つだけお宝の入った「当たりの箱」があったとします。この場合の当選確率は単純に1/3であることに疑いようはありませんが、選んだ箱とは別の箱が開かれ「この箱ははずれです、今から箱を選び直すことができますがどうしますか」と問われるとどうでしょう。直感だと「最終的に2択なのだから1/2」又は「当初3択だったのだから、何があっても1/3」結局差がないのだから「後悔しないようにそのまま」となるのではと思いません。しかし、実際は箱を選び直した方の当選確率は2/3になります。【解説図】を参照頂きたいのですが、このケースでの組み合わせは全6種類で、箱を変えない場合は3種類の内1つが当たりです。しかし、箱を変えた場合は3種類の内当たりは2つになります。考える程にドロ沼にハマってしまいそうですね。箱を選び直すと「最初の結果と反対になる」と考えると少しスッキリするのではないのでしょうか。この問題は過去に外国のテレビ番組でも実証されており、結果はほぼ理論値通りとなつたようです。



職場のマジック

令和4年3月13日(日)
14:00開演(13:00開場)
和田山ジュピターホール
(兵庫県朝来市和田山町玉置877-1)

たくさんのご応募ありがとうございました。2月20日をもって応募を締め切りとさせていただきます。当選結果は、入場券の発送をもってかえさせていただきます。当選された方のご来場を心よりお待ちしております。

※ 新型コロナウイルス感染症流行等の影響により、音楽フェスタの中止又は実施要領を変更する場合がございます。



第3師団HP

JGSDf The 3rd Division
陸上自衛隊 第3師団 スプリングフェス
Spring fes
in ANAGO
あなご